# めいはん

平成24年8月　　No.90

# 財団法人と明範荘

ロンドンオリンピックの日本選手の奮闘はテレビで観戦し、一喜一憂しました。「史上初のメダル獲得」「金メダル獲得は 48 年ぶり」等、元気と勇気を沢山いただきました。栄光の起源、先達の一方ならぬ努力、スポーツ界の歴史の重さを感じました。

明範荘の事務所前に胸像があります。そこには『石原永明翁』と刻まれています。51 年前の昭和 36 年 5 月が明範荘の起源と歴史の始まりとなります。石原先生は、旧八開村ご出身で東京市（現在の東京都）議会議長を歴任され、郷土の発展と福祉の向上を願われ、多額の私財を基金として初代矢留道雄理事長に託されました。その基金を元に老人ホーム創設を支援する法人として『財団法人西導寺貞徳会』が設立されたのです。そののち、1 年 2 ヵ月後の昭和 37 年 7 月に社会福祉法人貞徳会が設立されました。明範荘の運営主体となる法人の誕生です。

『財団法人西導寺貞徳会』の現在の主な事業は、基金の利息を財源とした、八開地区の小中学校への図書費等の助成、明範荘近隣の子ども会への助成です。しかし、財団法人等、公益法人は国の公益法人制度改正により、平成 25 年 11 月までに一般財団法人か公益財団法人に移行するか、解散するか、複雑な岐路の選択に立たされています。

『財団法人西導寺貞徳会』の 50 年来に及ぶ明範荘創設と支援の役割は、ひとつの区切りとなっていますが、矢留眞人現理事長は地域福祉の向上に寄与できるようにと願い、財団法人を存続させ、事業を継続する為に、一般財団法人へ移行する決断をされました。半世紀を経ても、創設当初の尊いご意志が、生き続けていると感じています。

先日、あるご年配のご婦人が突然、明範荘に尋ねてみえました。「40 年ぐらい前に母が明範荘にお世話になりました。夫が他界し、自分も一人身になり、母が世話になった明範荘に」と多額のご懇志を頂きました。お名前をお伺いするも、名乗られずお帰りになられました。

明範荘の 50 年にも渡る、長い年月の歴史の上に、私たちは、生かされていることを、新たに思い増しています。

平成 24 年 8 月

明範荘養護老人ホーム荘長　田中智行

# 夏祭り

８月９日恒例の夏祭り。今年も盛大に行いました。

夕方から浴衣に着替えはじめ、各ユニットもお祭りムード一色。

今年はマジックの子安雄大さん、歌手の松田敏来さんに来ていただきました。マジックはとても本格的で、利用者さんも遊びに来てくれた子供たちも目が釘付けになってしまいました。

また、毎年地元、赤目地区の方にご協力いただき、みたらしを無料で提供いただいております。みたらしが大好きな方が多く、とても喜ばれています。

おおいに楽しんでいただけましたでしょうか？

# 外出会アラカルト

## 天王川藤まつり

天王川公園には、長さ275m、面積約5,034㎡の見事な藤棚があります。甘い香りに包まれて、風にそよぐ壮麗な藤を心ゆくまで味わえます。さらに、藤棚の下を流れる疎水の水面に映える美しい藤の花の眺めは、ひと味違う趣があります。

## 桜見物（愛西市江西町）

# お千代保稲荷

「おちょぼさん」の愛称で親しまれている千代保稲荷は、商売繁盛・家内安全のご利益がある神社とされ、多くの参拝客が訪れています

　通りには、菓子屋・洋品店・喫茶店などが並び、人気の外出先となっています。懐かしいお菓子を買ったり、おいしいコーヒーを飲んだり、楽しみ方はそれぞれです。

# 外食（松廼家・かっぱ寿司・コメダコーヒー）

「ウナギが食べたい！」「握りずしが食べたい！」利用者さんの要望にお応えして、外出会を企画し出かけました。

コメダコーヒーでは普段なかなか食べられないソフトクリームを堪能しました。

# クラブ・レクリエーション紹介

## 癒しクラブ

癒しクラブではタクティールセラピーに取り組んでいます。タクティールセラピーとはスウェーデン発祥のケアで、相手の体にやわらかく包み込むように触れるケアです。

一般的なツボや筋肉を刺激するマッサージとは異なり、優しいふんわりとした接触を継続的に行うことにより、肌と肌とのコミュニケーションを通して、相手の不安な感情を取り除いたり、痛みを和らげたりする効果があります。

明範荘では主に重度要介護者の方を対象にこの取り組みを始めています。運動やゲーム・会話を中心とするレクリエーションにうまく参加できずにいる方でも、タクティールセラピーには十分効果が期待されるからです。寝たきりや重度認知症になって食事・排泄・入浴以外にはあまり関わる機会がないという状況からなにかしてもらえることはないかということで、本年度から癒しクラブをスタートさせました。

いま参加されている方は、話しかけてもあまり反応がない方が多いのですが、癒しクラブの最中は非常にリラックスして、また触覚を通じてしっかりコミュニケーションがとれていることが、目の動きや表情でわかります。

リラックスできる音楽やアロマも準備しております。みなさん癒されに来てください。

# エコクラブ

養護老人ホームでは、平成２１年度よりエコ活動に取り組んでいます。

活動のひとつは古紙回収で、施設内で出た雑誌やダンボールを集め、古紙回収業者に引き渡します。もうひとつは世界の子供たちにワクチンを届けるためペットボトルのキャップを集める活動に取り組んでいます。

①キャップをエコキャップ推進協会で回収②リサイクルメーカーへ売却③売却益をワクチン寄贈団体へ寄付④NPO 法人「世界の子供にワクチンを」日本委員会（JCV）を経て途上国にワクチンが届きます。

ペットボトルキャップは 400 個で 10 円になります。キャップ 800 個＝20 円で一人分のワクチンが用意でき、子供の命が救えます。また、ゴミとして焼却してしまえばキャップ 400 個で 3150g の CO2 が発生します。地球のためにも途上国のためにも役に立つ取り組みとなっています。

われわれは、施設内で出たキャップを回収したり、職員に呼びかけなどをおこなっています。

入居されている方の中でも、体が比較的元気な方ほど、暇をもてあましてしまうことがみられます。社会にも役立つ活動に参加することで、役割を担うことができるので継続して取り組むことができます。やはり社会や人の為になっているという実感は、生活を豊かにしていく上で非常に大事なことではないでしょうか。

これからも張り切って活動していきますので、ご協力お願いします。

# 栄養士室より
## ～七夕バイキング～

７月６日（金）明範荘では毎年恒例の七夕バイキングを実施しました。バイキングメニューは、寿司盛り合わせ（巻き寿司・いなり寿司・もろこ押し寿司）、おはぎ、そうめん、おかず盛り合わせ（エビフライ・ポテトフライ・卵焼き・つくね串・とうもろこし）、果物盛り合わせ（スイカ・メロン）です。

主食系のものも多く、すぐにお腹がいっぱいになってしまいそうなので、どれか削った方がいいのでは？と思いましたが、利用者の皆さんの大好物ばかりで、全部食べたいとのことでした。

「いろいろ食べて、お腹いっぱい。」「どれもおいしかったよ。」等々、喜びの声をたくさん聞かせて頂きました。

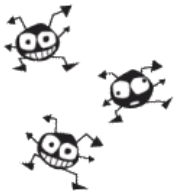
# ～食中毒の予防対策～

連日、猛暑日が続いています。高温多湿となる夏季に、最も食中毒の発生件数が多くなります。そのほとんどは、細菌性の食中毒です。温度や湿度が、細菌の増殖に適しているためと考えられています。

多くの場合、嘔吐・腹痛・下痢などの急性の胃腸障害を起こし、ほとんどは症状が軽くてすみますが、なかには腸管出血性大腸菌（O-157 や O-111）のように、死に至ることもあります。

特に、体の抵抗力の弱い子どもや高齢者で重症化する傾向があるため、注意が必要です。

## ★食中毒予防の 3 原則★



**原則①　細菌をつけない**

- 十分に手を洗いましょう
- 食材はよく洗いましょう
- 調理器具をしっかり洗浄・消毒しましょう

**原則②　細菌を増やさない**

- 速やかに調理して、早めに食べましょう
- 飲食までに時間がある場合は、すばやく冷蔵庫・冷凍庫に入れて保管しましょう（室温放置は厳禁です）

**原則③　細菌をやっつける**

- 中心温度 75℃で、1 分以上は加熱しましょう

（注）食中毒菌が作り出す毒素の中には、熱に強いものもあるため、加熱したから大丈夫という過信は禁物です

・調理器具は、漂白剤や熱湯などで定期的に消毒しましょう

# コラム
# 介護力向上

本年度より全国老人福祉施設協議会主催の「第９期介護力向上講習会」に参加して研鑽に励んでおります。(特別養護老人ホーム介護員参加)

国際医療福祉大学院教授の竹内孝仁先生が講師をつとめ、本年度で計６回定期的に東京まで出向き講義をうけて、さらに行く度に宿題をいただき即取り組んでいくという極めて実践的な内容の講習会になります。

この講習会の大きな目標は「日中のオムツゼロ」です。この講習会参加にあたり、当施設でもデータを取ってみたところ実に４０％超の方が昼夜オムツで過ごされていました。われわれ介護に携わるものにとってオムツというものがただ単に不快感があるという以上に、その方の人間性を侵害しているということは十分に理解されており、当施設でもなるべくオムツはせずトイレで排泄できるようにという方針は持っていました。

ただ、正直当施設のオムツ率４０％が高いのか低いのかもよくわかっていませんでした。今回全国から志の高い特別養護老人ホームが集まり、オムツゼロ達成という施設も全国で数施設はあります。みなさん努力されゼロに近づけようとされていることがよくわかりました。

しかし、それとは逆に９０％超がオムツ着用というところもあり、この数字の開きは厳然たる施設の介護力の差であるといって差し支えありません。ある老人ホームに入ったらオムツをつけて生活をするようになった。ところが、隣の老人ホームでは入ったらオムツを外して生活するようになった。ということが現実にあるということです。

高齢者福祉の世界は介護保険がはじまり10年あまりが経過しましたが、まだまだ過渡期なのかもしれません。質の低い介護しか提供できない施設は淘汰される時代がくるのではないでしょうか？

先生の説かれるオムツゼロ理論は極めて簡潔で、４ つの戦略に集約されます。それは　①水分②歩行③下剤中止④トイレ排便　の４つです。

その中から最初に重視すべきことといわれる【水】について今回はご紹介します。

人間の６０％は水です。高齢者だと５０％が水といわれています。

その水分が必要量失われた状態を脱水と呼びます。今年の酷暑で熱中症という言葉を耳にする機会が多かったと思いますが、熱中症の諸症状も脱水が起因となるようです。

先生によれば水分の欠乏が１～２％起きると意識障害、２～３％で発熱・循環機能に影響、５％で運動機能低下、１０％で死亡にいたるとのことです。

高齢者の体重が５０ｋｇならば､必要な水分量は２５ｋｇ=２５ｌであり、さらにその 2%は 500mｌ。わずかペットボトル一本分の水が体内から不足すると、意識障害や発熱を引き起こすことになるとのことです。

いつもぼんやりしている方は、水分が不足し、意識障害が起きている可能性が高い。ぼんやりしている方は、いつもそうだから、認知症だから仕方ないですまさず、そうした視点からのアプローチが必要と今は意識するようになりました。

最初に、十分に水分をとり、意識をはっきりさせることが、歩行やトイレ排便、食事摂取によい影響をもたらすことになります。

しかしながら、高齢者の皆さんは水を取りたがらない方が多いです。トイレが近くなるから嫌という方もいれば、ほんのわずかの量でもういらないと頑なな方もみえます。これまでは、本人が要らないといっているからと必要以上にすすめることもありませんでしたが、現在は一日の水分量をチェックし不足している方には、味の好みを考えたり、ゼリー状にした水分を食べてもらったりと創意工夫を重ねて水分量を増やそうと試みています。

なかなかすぐに結果は出ませんが、何年かかっても是非成し遂げていきたいと思って頑張っています。

# 叙勲

当荘職員の島原あけみさんがこのたび瑞宝単光章を授章されました。長年にわたる福祉への貢献を称えられたものです。心よりお慶び申し上げます。

このような身に余る章をいただき、感無量です。これまで、支え続けていただきました皆様に感謝申し上げます。

思い起こせば、明範荘に勤めはじめたときには右も左もわからず、無心に働きつづけてきましたが、ふと周りを見回してみると若い職員達に囲まれての仕事であり、この授章をひとつの機会により精進しなくてはと身につまされるおもいです。

なにより、このやさしくて明るくて楽しい明範荘だからこそ続けることができたと思っていますし、これからもそうありたいと願っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

（特養Ｃブロック　ユニットリーダー　島原あけみ）

# 慰問　いつもありがとうございます

４月　稲沢芸能ボランティア　ゆうあい会
　　まのあけみ様　カラオケ同好会
５月　あやめ会　さおり大正琴・園流舞踊
６月　佐倉ひな子様他　経大亭勝笑様他
　　稲沢芸能ボランティア　丸島保育園
７月　八開大正琴　コーラスグループれん
８月　稲沢芸能ボランティア　八開地区民生委員

# ボランティア体験記

夏休み期間中には、たくさんの学生さんがボランティアにやってきてくれます。その中から金城学院大学コミュニティー福祉学科１年生の井戸田祐里佳さんにお話を伺うことができました。

今回、８月６日から１０日までの五日間明範荘特別養護老人ホームのＣブロックで初めてボランティア活動に参加させていただきました。

このボランティア活動を通して、普段では出来ない貴重な体験をさせていただきました。入浴介助・食事介助、寝たきりの利用者さんのシーツを替えることなど、実際自分が体験してみるとその大変さを身にしみて感じました。介護の仕事は体力勝負で大変ですが、利用者さんと職員の方との間にできる厚い信頼関係はこの仕事だからこそ生まれるものだと思います。

ボランティア活動は毎朝廊下でラジオ体操をして、皆様にごあいさつするところから始まるのですが、利用者さんが体操をしていない場合にも、職員のかたが優しく声をかけて手を一緒にとって一緒に体操をしている光景を目にしました。どの職員の方も明るく元気な方が多く、一人ひとりの利用者さんとの関係を大切にしていることがわかりました。

利用者さんとの会話では、仏様の存在や、食事がおいしかったこと、私たち学生がボランティアで来てくれることがうれしいこと、それからいつもそばにいてくれる職員のかたが大事な存在であること、など話してくれました。そんな会話の中から、私は普段から毎日の生活ができることにありがとうの気持ちを忘れてはいけないことを教えられました。

いつか自分が誰かを介護する機会をいつか得たならば、相手の方がそういう思いをもってくれる存在になりたいと思います。

この５日間で、多くの利用者さんや職員の方々と巡りあえた事に心から感謝します。本当にありがとうございました。

# 明範荘送迎バス

（第2･第4　金曜日）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 津島駅 | 10：00 | 明範荘 | 14：00 |
| ↓ | | ↓ | |
| 明範荘 | 10：20 | 津島駅 | 14：20 |

遠方からの面会の際などお気軽にご利用ください。
予約制ですので、ご利用の際には必ずお電話にてご連絡ください。
都合により変更の場合がありますのでご了承ください。
ＴＥＬ：０５６７－３３－３０７７

# 愛西市無料巡回バス

愛西市無料巡回バスでは明範荘前に停留所が設置されています。
運行日は月～土曜日となっています。年末年始(12/28～1/4)と
日曜、祝日は運休となっておりますのでお気をつけてください。

**八開ルート1コース**

藤波駅　10:49
↓
町方駅　11:01
↓
明範荘　11:12

**八開ルート2コース**

明範荘　13:54
↓
町方駅　14:04
↓
藤波駅　14:16

上記はコースの一例です。詳しくは愛西市ホームページ、または
愛西市役所総務課(0567-26-8111)にお問い合わせください。

利用者様にも協力していただき、夏祭りの準備をしました。

# 編集後記

暦の上では秋が近づいておりますが、まだまだ暑い日が続いております。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

さて、夏祭りも無事に終わり、ほっと一息つく間もないうちに家族会の準備がはじまっていきます。暑い中夏祭りの準備に精を出し、熱中症になることをおそれながら、準備がすべて終わった頃にはへとへとになってしまいました。しかし、パティオに一同が集い、皆でわいわい楽しく過ごす様子を見て次のイベントへ向けての鋭気を養えると実感しております。

これから夏祭りにはじまり、敬老祝賀会・家族会・創立記念日・運動会・文化祭・クリスマス忘年会と年末にかけてイベントが続いていきます。そこで思うことは、入居者と職員だけで完結する生活では充実した生活とはいえないということです。家族の皆様・地域の皆様なども参加していただくことが、入居者さまの表情を輝かせる秘訣かと思います。もちろんイベントに限らず、普段の生活でも必要なことでありますが、まずは家族会に向けて参加をお願いする次第であります。

ぜひ、明範荘へお越し下さい。皆様の来訪を心よりお待ち申し上げております。

（明範荘特別養護老人ホーム副荘長　矢留仁道）

# 平成23年度決算の状況

## 貸借対照表

（単位千円）

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---|---|---|---|
| 流動資産 | 501,479 | 流動負債 | 297,222 |
| 固定資産 | 2,814,551 | 固定負債 | 742,951 |
| 基本財産 | 1,802,091 | 負債の部合計 | 1,040,174 |
| その他の固定資産 | 1,012,460 | | |
| | | 純資産の部 | |
| | | 基本金 | 193,636 |
| | | 国庫補助金等特別積立金 | 600,650 |
| | | その他の積立金 | 588,020 |
| | | 次期繰越活動収支差額 | 893,548 |
| | | 純資産の部合計 | 2,275,856 |
| 資産の部合計 | 3,316,031 | 負債及び純資産の部合計 | 3,316,031 |

## 資金収支計算書

自　平成23年4月1日　至　平成24年3月31日

（単位千円）

| 勘定科目 | 決算額 | 本部 | 特養 | 短期 | 通所 | 在介 | 養護 | 訪問 | グループホーム |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 介護保険収入 | 669,763 | 0 | 503,740 | 41,639 | 51,191 | 0 | 46,614 | 26,577 | 0 |
| 措置費収入 | 102,669 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 102,669 | 0 | 0 |
| その他 | 252,976 | 34,290 | 5,248 | 59 | 850 | 2,775 | 10,167 | 665 | 198,915 |
| 経常活動収入計（A） | 1,025,409 | 34,290 | 508,990 | 41,700 | 52,042 | 2,775 | 159,451 | 27,243 | 198,915 |
| 人件費支出 | 499,820 | 288 | 351,049 | 25,866 | 29,141 | 2,775 | 76,376 | 14,076 | 247 |
| 事務費支出 | 72,983 | 2,716 | 18,938 | 0 | 1,694 | 0 | 47,630 | 121 | 1,882 |
| 事業費支出 | 100,930 | 0 | 61,025 | 2,948 | 4,041 | 0 | 25,958 | 0 | 6,956 |
| その他 | 258,170 | 40,800 | 176,498 | 8,931 | 20,813 | 0 | 1,975 | 9,149 | 0 |
| 経常活動支出計（B） | 931,906 | 43,804 | 607,513 | 37,747 | 55,691 | 2,775 | 151,941 | 23,347 | 9,085 |
| 経常活動資金収支差額（C＝A－B） | 93,503 | △ 9,514 | △ 98,522 | 3,952 | △ 3,649 | 0 | 7,510 | 3,896 | 189,829 |
| 施設整備等収入計（D） | 40,800 | 40,800 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 施設整備等支出計（E） | 192,679 | 8,492 | 3,153 | 0 | 0 | 0 | 724 | 0 | 180,308 |
| 施設整備等資金収支差額（F＝D－E） | △ 151,879 | 32,307 | △ 3,153 | 0 | 0 | 0 | △ 724 | 0 | △ 180,308 |
| 財務活動収入計（G） | 64,610 | 8,492 | 53,116 | 0 | 0 | 0 | 3,001 | 0 | 0 |
| 財務活動支出計（H） | 91,982 | 30,089 | 44,143 | 3,606 | 1,600 | 0 | 9,543 | 3,000 | 0 |
| 財務活動収支差額（I＝G－H） | △ 27,371 | △ 21,596 | 8,972 | △ 3,606 | △ 1,600 | 0 | △ 6,541 | △ 3,000 | 0 |
| 予備費（J） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期資金収支差額合計（K）<br>(K＝C+F+I-J) | △ 85,747 | 1,196 | △ 92,703 | 346 | △ 5,249 | 0 | 244 | 896 | 9,520 |
| 前期末支払資金残高 | 290,004 | 11,755 | 221,689 | 3,603 | 13,689 | 0 | 34,269 | 4,996 | 0 |
| 当期末支払資金残高 | 204,257 | 12,952 | 128,986 | 3,949 | 8,440 | 0 | 34,513 | 5,893 | 9,520 |

## 事業活動収支計算書

自　平成23年4月1日　至　平成24年3月31日

（単位千円）

| 勘定科目 | 決算額 | 本部 | 特養 | 短期 | 通所 | 在介 | 養護 | 訪問 | グループホーム |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 介護保険収入 | 669,763 | 0 | 503,740 | 41,639 | 51,191 | 0 | 46,614 | 26,577 | 0 |
| 措置費収入 | 102,669 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 102,669 | 0 | 0 |
| その他 | 41,302 | 1,558 | 21,928 | 520 | 1,934 | 2,775 | 12,364 | 2 | 217 |
| 事業活動収入計（A） | 813,736 | 1,558 | 525,670 | 42,160 | 53,126 | 2,775 | 161,648 | 26,579 | 217 |
| 人件費支出 | 499,820 | 288 | 351,049 | 25,866 | 29,141 | 2,775 | 76,376 | 14,076 | 247 |
| 事務費支出 | 72,983 | 2,716 | 18,938 | 0 | 1,694 | 0 | 47,630 | 121 | 1,882 |
| 事業費支出 | 100,930 | 0 | 61,025 | 2,948 | 4,041 | 0 | 25,958 | 0 | 6,956 |
| 減価償却費 | 74,248 | 271 | 46,622 | 3,288 | 3,560 | 0 | 19,581 | 0 | 923 |
| その他 | 2,141 | 0 | 2,128 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 事業活動支出計（B） | 750,124 | 3,275 | 479,764 | 32,116 | 38,438 | 2,775 | 169,546 | 14,198 | 10,009 |
| 事業活動収支差額（C=A-B） | 63,611 | △ 1,717 | 45,905 | 10,043 | 14,688 | 0 | △ 7,897 | 12,381 | △ 9,792 |
| 事業活動外収入計（D） | 246,079 | 32,731 | 3,108 | 60 | 825 | 0 | 9,774 | 664 | 198,915 |
| 事業活動外支出計（E） | 256,030 | 40,800 | 174,371 | 8,919 | 20,813 | 0 | 1,976 | 9,149 | 0 |
| 事業活動外収支差額（F=D-E） | △ 9,950 | △ 8,068 | △ 171,262 | △ 8,859 | △ 19,988 | 0 | 7,797 | △ 8,484 | 198,915 |
| 経常収支差額（G=C+F） | 53,660 | △ 9,785 | △ 125,357 | 1,184 | △ 5,299 | 0 | △ 100 | 3,896 | 189,122 |
| 特別収入計（H） | 40,800 | 40,800 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特別支出計（I） | 35,395 | 0 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 35,379 |
| 特別収支差額（J=H-I） | 5,404 | 40,800 | △ 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 35,379 |
| 当期活動収支差額（K=G+J） | 59,065 | 31,014 | △ 125,373 | 1,184 | △ 5,299 | 0 | △ 100 | 3,896 | 153,743 |
| 前期繰越活動収支差額（L） | 813,122 | 210,143 | 303,336 | 22,629 | 38,147 | 0 | 233,869 | 4,996 | 0 |
| 当期末繰越活動収支差額（M=K+L） | 872,188 | 241,157 | 177,962 | 23,813 | 32,847 | 0 | 233,768 | 8,893 | 153,743 |
| 基本金取崩額（N） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 基本金組入額（O） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の積立金取崩額（P） | 58,492 | 8,492 | 50,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の積立金積立額（Q） | 37,132 | 30,089 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,043 | 3,000 | 0 |
| 次期繰越活動収支差額（R）<br>(R=M+N-O+P-Q) | 893,548 | 219,561 | 227,962 | 23,813 | 32,847 | 0 | 229,725 | 5,893 | 153,743 |

※法人事務所にて決算書類を閲覧に供しています。

明範荘のアイドル犬「アン」大好評貸出中！

社会福祉法人　貞徳会

明範荘養護老人ホーム
明範荘特別養護老人ホーム
明範荘デイサービスセンター

愛知県愛西市赤目町山之神　30 番地 1
TEL　0567-33-3077
FAX　0567-37-0212
Mail　info@meihansou.or.jp
HP　http://www.meihansou.or.jp